

昭和52年度 学位授与・単位修得論文

昭和52年度 博士課程単位修得論文

商学研究科

組織構造論の研究	榊原 清則	(田島 壮幸)
静的貸借対照表論の研究(上・下)	五十嵐邦正	(森田 哲弥)
政策研究の課題, 合理性公理批判, プロセス指向性, ならびに処方論の方法	小林 秀徳	(宮川 公男)
米国における資金的会計観の軌跡	佐藤 倫正	(中村 忠)

経済学研究科

マクロ経済学における生産と所得の均等	松本 光造	(荒 憲治郎)
差額地代論と土地所有の前提——いわゆるマルクス方式の検討——	松嶋 孝雄	(種瀬 茂)
「国富論」における「商業社会」に関する一考察——「国富論第1編について——	近野 登	(種瀬 茂)
資源と成長——ポジティブ・セオリー——	小川 秀	(二階堂副包)
「社会的労働」と「資本の生産力」	大高 啓一	(高須賀義博)
総雇用関数の研究——TaiwanのCase Study	カオ・ヴァン・クック	(溝口 敏行)
SNAの体系と問題	作間 逸雄	(二階堂副包)
わが国の貸出市場について	外山 茂樹	(宮沢 健一)
Exploitation and Profits in Von Neumann Economies	竹田 茂夫	(二階堂副包)
所得移転の構造と所得不平等：一つの公理論的接近	八束 厚生	(倉林 義正)
管理労働と生産的労働	吉村 幸男	(種瀬 茂)
消費選択の構造的特性	平沢 典男	(塩野谷祐一)
Social Change in the West Sumatran Village : 1908—1945		

昭和52年度 学位授与・単位修得論文

	大木 昌	(深沢 宏)
Structure of Agrarian Society in Northern Bengal (1765 to 1800)		
	谷口 晋吉	(深沢 宏)
シャープハウゼン銀行の成立 (1848年)	長沼 宗昭	(浜林 正夫)
戦間期台湾の産業構造と金融	柴田 善雅	(中村 政則)
Japan's Direct Investment in Southeast Asia		
	トラン・ヴァン・トゥ	(小島 清)
新重商主義——その本質と意味——	中沢 進一	(小島 清)
日本造船経営史研究序説——財閥系大造船資本の蓄積構造		
	西成田 豊	(中村 政則)
華北の治水・灌漑事業と食糧生産についての一研究	平田 一幸	(石川 滋)
イギリス労使関係の再編成——1921年炭鉱争議分析——		
	和田 一夫	(外池 正治)

法学研究科

アメリカにおける連邦刑事裁量上告制度	宮城 啓子	(福田 平)
法廷地為替管理法の適用に関する一考察	横山 潤	(塚場 準一)
保全訴訟と本案訴訟	野村 秀敏	(竹下 守夫)
軍備拡大競争の数理分析	黒川 修司	(細谷 千博)
幅広い連合戦線における孫文の政治指導	横山 宏章	(細谷 千博)
ルソーにおける「人民主権」理論の研究	結城洋一郎	(杉原 泰雄)
主権原理と統治機構	成嶋 隆	(杉原 泰雄)
フランス1793年憲法の研究	辻村みよ子	(杉原 泰雄)

社会学研究科

初期におけるブルードンの社会科学方法論について	斎藤 悦則	(津田 内匠)
清末税収奪体制の再編——清末税収奪をめぐる支配体制の再編——		
	夏井 春喜	(増淵 竜夫)
マールブランシュのイデー論	藤江 泰男	(古賀英三郎)

一橋研究 第3巻第1号

ヘーゲルにおける自然主義の問題——精神現象学についての考察——

前田 庸介 (岩崎 允胤)

中国農村革命の展開と基層幹部——第三次国内戦争期の実態的考察——

天児 慧 (西 順蔵)

何其芳の詩にみる感情の変化を追って

——「預言」から「文芸講座の詩期について」—— 大沼 正博 (西 順蔵)

フリードリヒ・リスト研究における若干の基本問題 木村周市郎 (菅 順一)

日本労働総同盟史 1925—1940 塩田 咲子 (藤原 彰)

地域右翼・ファッション運動の研究——長野県下伊那郡における展開——

須崎 慎一 (藤原 彰)

政友会論 満州事変前の政友会 千代田典士 (藤原 彰)

身体と実現 メルローボンティ研究序説 角田 史幸 (鈴木 秀勇)

岡田家の家農経営 沼田 誠 (佐々木潤之介)

昭和52年度 修士学位論文

商学研究科

株式市場の効率性と株式リスク 小山 明宏 (宮川 公男)

ケインジアンとマネタリストの金融・財政政策 小藤 康夫 (花輪 俊哉)

米国管理会計発達史(一, 二, 三) 広本 敏郎 (岡本 清)

多国籍企業の成立と確立——スタンダード石油—— 済藤 友明 (藤津 清治)

連結会計論——特殊問題の検討を中心にして(一, 二)——

倉見 義弘 (中村 忠)

戦後日本の株価の変動(1945~1975)とその要因に関する実証的

分析 ヤーダー・ジンチャチャワン (木村 増三)

物的流通システムの一考察——拠点立地モデル——

グエン・ゴック・ビック・トゥイ (田内 幸一)

経済学研究科

Optimality and Equilibria in Convex and Nonconvex Economies :

A Mathematical Programming Approach 西条 辰義 (荒 憲治郎)

Resource Allocation and Transaction Cost	明石 茂生	(荒 憲治郎)
価値法則と独占価格体系——諸学説批判——	大西 幹弘	(種瀬 茂)
ニュー・ディール初期の通貨政策	塚田 広人	(種瀬 茂)
市場支配力の生成と規制	野本 了三	(宮沢 健一)
部門内競争と部門間競争——「剰余価値学説史」Ⅱを中心として——	福田 泰雄	(松石 勝彦)
価値と社会選択——社会選択における Arrow の一般不可能性定理の解消可能性——	藤垣 芳文	(宮沢 健一)
同時方程式における検定問題について	程島 次郎	(溝口 敏行)
価格調整機構について	渡辺 慎一	(二階堂副包)
13世紀イングランドにおける村落秩序と裁判制度	国方 敬司	(浜林 正夫)
近畿先進農業地域における後退期地主制の構造	庄司 俊作	(中村 政則)
戦前期都市サービス業の労働市場	牧野 文夫	(南 亮進)
日本の海外直接投資(対東南アジア向け製造業の場合)	朴 永一	(小島 清)

法学研究科

既存会社の株式単位是正の方法に関する考察	菊池 祥明	(喜多 了祐)
国際法上の自衛権	尾形健二郎	(皆川 洸)
現代商法法の課題——クレジットファクタリングの研究——	吉田 直	(喜多 了祐)
双務契約と危険の法理	小野 秀誠	(好美 清光)
西ドイツにおける強制参加論の展開	佐野 裕志	(竹下 守夫)
英米法における無罪推定の法理	融 祐子	(堀部 政男)
英米法における名誉毀損と言論の自由	島崎 文彰	(堀部 政男)
国連総会における投票行動決定のタイポロジー的研究	大芝 亮	(細谷 千博)
ボグド政権の対外交渉と内陸アジア国際関係	中見 立夫	(細谷 千博)
フルシチョフとソビエト知識人	吉川 元	(細谷 千博)
行政手続の瑕疵と行政行為の取消事由	山田 洋	(市原昌三郎)

社会学研究科

Die Berliner Arbeiterschaft vor der Revolution 1848~49

	川越 修	(良知 力)
金融資本と階級関係	河野 裕康	(古賀英三郎)
ベルン時代におけるヘーゲルの宗教論	細田 久義	(鈴木 秀勇)
ヘーゲル論理学における「概念」について	太田 信二	(岩崎 允胤)
「諸国民の富」における産業構造と「土地所有者」	西沢 保	(都築 忠七)
K・マルクスにおける企業概念の輪郭形成	山梨 彰	(富沢 賢治)
ヘーゲルの有限者論	赤井 正二	(岩崎 允胤)
ヘーゲル「論理学」本質論の過程と「概念」成立の意義	勝木 吐夢	(岩崎 允胤)
ポーランド問題への視標——ローザ・ルクセンブルク——		
	川名 隆史	(良知 力)
若きヘーゲルの思想形成過程に関する一試論	照井日出喜	(岩崎 允胤)
数学基礎論の認識論的反省と数学的認識の基礎	丸山不二夫	(岩崎 允胤)
江西ソビエト期における中共と大衆——基層ソビエト政権を中心に——		
	三好 章	(増渕 竜夫)
ウィリアム・トムソンの共同主義思想	廣間重司郎	(都築 忠七)
ローデシアの伝統的宗教体系と社会構造	白岩 隆志	(長島 信弘)